

④環境の未来

環境の未来						
施策の基本方向/施策		順調 A	概ね順調 B	遅れ C	見直し D	把握困難 —
1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3. いのちの源としての水環境の充実	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造	2	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5. 豊かな自然を活かした環境学習の仕組みづくり	1	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合 計	11	2 (18.0%)	8 (73.0%)	1 (9.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

- ・ 11の施策のうち10の施策の体系が順調または概ね順調との結果であった。
- ・ 「1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実」において、住環境の整備にかかる大型事業に進捗があり、人口減少対策としてソフト事業の推進も重要性を増している。
- ・ 「4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造」において、自然環境の保全と土地利活用を両立する制度の設計及び見直しが求められる。

1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実

施策コード		P4101	
評価		施策の体系	施策の方針
A		①質の高い住環境の整備	<ul style="list-style-type: none">・長寿命化計画に基づき公営住宅を適切に維持管理し、良好な生活環境を維持・形成する住宅政策を推進します。・質の高い住宅・宅地供給の誘導を進めます。・空き家バンクの強化など、空き家を活用した住まいの提供を進めます。
■主な事業			■主な成果
建設下水道課	公営住宅等ストックの長寿命化事業（公営住宅建て替えなどへむけた環境整備の推進）、建築協定による適切な住宅づくり（宅地分譲など）及び住まいの確保、空き家活用事業		<ul style="list-style-type: none">・民間資金とノウハウを活用したPFI事業での公営住宅整備などの事業化へ向けた環境整備（旧氷川警察署施設解体）を実施・空き家の有効活用及び解消につなげるため、空き家バンク促進補助金（空き家改修補助、家財撤去補助、引越補助、新築住宅建築支援）を実施
■課 題			■次年度への展開
特記なし			氷川町が抱える人口減対策として、住宅政策は喫緊の課題であり主軸政策事業のため、今後もスケジュールに沿って事業を推進する。

施策コード		P4102	
評 価		施策の体系	施策の方針
B		②移住定住に向けた魅力的な生活環境整備と情報発信	<ul style="list-style-type: none">・ 移住定住の促進に向けて、魅力的な生活環境整備を進めます。・ 移住定住の促進に向けた情報発信やイベントを開催します。・ 本町の魅力や強みを知ってもらう総合的なブランディングに取り組み、多様なデジタルプロモーションによる情報発信強化を推進します。
■主な事業			■主な成果
地 域 振 興 課	婚活応援事業、移住総合情報発信ツール制作事業、移住者に対する支援策の創設、地区環境の保全と受け入れ態勢の検討		定住自立圏の3市町それぞれの会場で婚活イベントを開催した。また、対面の移住相談会では相談件数が年々増加してきており、移住体験住宅の利用相談も少しずつ増えてきている
企 画 財 政 課	町の魅力発信事業		PRパンフレット・PR動画の作成に着手した。（完成は令和7年度）

■課 題	■次年度への展開
【地域振興課】 婚活イベントへの町内参加者は前年度より伸びているが、更に増やしていく必要がある。移住相談者が求める支援策をわかりやすく説明するノウハウ習得が必要。 【企画財政課】 ひかりんやSNSなど、PRする媒体はそろっているが、うまく活用できていない。	【地域振興課】 結婚サポートに向けた長期的な支援体制づくりを検討する。また、移住相談会へ積極的に参加し、町の移住支援策のPR、相談後のフォローアップをしっかりと行う。 【企画財政課】 令和7年度に制作完了となる「PR動画、記念ソング、ブランドマーク」を活用した情報発信について、タスクフォースでの検討課題にも取り入れ展開していく。

成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
町営住宅などの長寿命化型整備率 (%)	77%	77	77				100%
空き家バンクの登録戸数 (新規) (戸)	28戸	7	6				40戸
移住施策活用による移住者総数 (人) ※ H29年からの累積値	37人	47	53				108人

2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実

施策コード		P4201	
評価		施策の体系	施策の方針
B		①便利で快適な生活道路の充実と幹線道路ネットワークの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の状況に応じた生活道路網の充実を図ります。 ・広域的な幹線道路ネットワークの確立へ向け、国・県・周辺自治体との調整に努めるとともに、町内の骨格となる生活幹線道路の計画的な整備を推進します。
		■主な事業	■主な成果
建設下水道課	道路施設の充実（道路新設改良業務）、道路維持管理事業（道路・橋りょう等維持修繕業務）、住民参加による維持管理の推進、新幹線新駅南北アクセス道路整備事業、シンボル道路整備事業、宇城氷川スマートインターチェンジへのアクセス道路整備事業、生活幹線道路ネットワーク計画策定・整備事業		生活道路として必要な幹線道路のネットワーク計画を策定すると共に、地域住民が安心して生活できる道路網を構築する。道路・橋りょうの機能保持及び損傷部分の修理又は、施設の更新を目的とした道路維持管理を行った。
		■課 題	■次年度への展開
農閑期や休校時期に工事発注せざるを得ず、工期が年度末となり職員や請負業者の負担となっている。また、町内道路の舗装や構造物などに老朽化が見られるため計画的な維持修繕の実施が喫緊の課題である。		発注者・受注者の負担を軽減し適切な工期を確保するため、発注件数に応じた発注時期の平準化を採用する。修繕・工事において、地区の要望を達成する。	

施策コード		P4202	
評価		施策の体系	施策の方針
B		②交通弱者を支える公共交通網の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者をはじめとする交通弱者が必要とする交通手段を調査・検討し、公共交通網の充実を図ります。 ・既存の公共交通機関を補完するデマンド型地域交通システムの検討を行います。
		■主な事業	■主な成果
総務課	既存のバスサービス整備事業		既存の住民の公共交通機関を確保するため、路線バス事業者への補助金を継続して交付した。
福祉課	交通手段の確保		一定の条件のもと、毎年約200名の方がタクシー利用料金助成事業を利用し、交通手段の一助となっている。

■課 題	■次年度への展開
<p>【総務課】 人口減少に伴うバス利用者の減少や、バス運営費用等の増加により、バス会社の収入減の確保が難しくなるため、町の財政負担が年々増加している。</p> <p>【福祉課】 対象者要件の緩和や助成額の増額を求める声もあるが、タクシー会社のドライバー不足から要件緩和による利用増加に対応できない可能性がある。</p>	<p>【総務課】 交通弱者の生活交通の維持という面では、路線バスの維持は非常に重要であるため補助金を継続して交付する。</p> <p>【福祉課】 コミュニティ交通については、他自治体での取り組みなどの情報収集を行い、今後新たな交通施策を取り入れるべきか検討を行う。事業を継続しつつ、対象者要件や助成金額について、他市町村の事業内容を参考に検討していく。</p>

成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
シンボル道路（町道 北川反甫北鹿野線） 整備進捗率（%）	25%	50	60				100%
改良済道路延長 （m）	199,140m	200,414	200,733				200,740m
路線バス系統維持 （路線）	5 路線 （R4）	5	5				5 路線
交通手段支援実施人 数（人）	191人	201	200				300人

3. いのちの源としての水環境の充実

施策コード	P4301		
評価	施策の体系	施策の方針	
A	①豊かな水環境の維持・改善に向けた活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域での水環境に関わる学習機会を創出し、環境に負荷をかけない暮らしや産業活動のあり方を考え、実践する意識を育んでいきます。 ・氷川の流域全体で活動組織と官民が連携して、水源の森から海までの河川に関わる環境改善の活動を推進します。 	
■主な事業		■主な成果	
企画財政課	氷川流域関係団体と連携した水辺環境づくりの推進	清流氷川流域対策協議会で、八代市、関係団体と一体となり、清掃活動や小学生を対象とした体験学習会などを実施した。氷川流域の清掃には町職員や関係団体が参加した。	
町民課	E M発酵液普及・啓発活動事業、水を大切にす意識啓発の推進	E M発酵液を町内全小中学校に配布し活用した。	
地域振興課	川沿いの緑化支援	河川沿いの地区においては、行政区活動活性化交付金による河川環境の改善、河川沿いの環境維持に取り組まれている。	
■課 題		■次年度への展開	
【企画財政課】 清掃活動、体験学習会ともに参加者が少なく、町民の一部の活動に限られている。 【町民課】 環境学習等でE M発酵液の効果などを啓発しているのは一部に留まっている。		【企画財政課】 継続的な活動となるよう協議会（作業部会・幹事会）にて事業計画の再考を行う。 【町民課】 小中学校へのE M発酵液の配布を継続的に実施しながら、環境学習等での啓発を全校で実施してもらう。	

施策コード		P4302	
評価		施策の体系	施策の方針
B		②水の環境を守り、育み、親しむための水環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭排水による水質汚濁を低減するために、各家庭や事業所の下水道への接続を促進していきます。 ・河川敷や護岸、堤防沿いの道、さらにその川沿いの地域の環境をできる限り自然に近い状態に改善し、水に親しめる身近な水辺の環境整備や活用を推進します。
		■主な事業	■主な成果
建設下水道課		下水道処理の広域化推進事業、下水道施設維持・更新業務、生活排水対策事業、加入促進対策事業、水洗便所改造促進事業、水辺の公園の維持管理と水に親しむ機会の創出、農集維持管理事業	宮原処理区の下水道施設において老朽化が顕著に見受けられ、現在、ストックマネジメント計画に基づき、低コストで合理的な維持管理を行っている。
町民課		生活排水対策事業	氷川町浄化槽設置整備事業補助金を活用し、汲み取り槽・単独処理浄化槽から環境負荷の少ない合併浄化槽へ転換を推進している。R6実績は、転換1基（7人槽）、新設2基（5人槽）であった。
		■課 題	■次年度への展開
【建設下水道課】 下水道施設の老朽化による更新のため継続的な予算確保が必要。 【町民課】 氷川町浄化槽設置整備事業補助金により、合併浄化槽への転換を推進しているが、汲み取り槽・単独処理浄化槽の家庭も多い状況。		【建設下水道課】 下水道事業の経営安定を目指すために、低コスト及び合理的な事業を目標に進めていく。 【町民課】 広報紙・ホームページ等を活用して氷川町浄化槽設置整備事業補助金制度を周知し、汲み取り槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を働きかけていく。	

成果指標

指標名	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	R9	目標値（R9）
川沿いの緑化取組地区数	4地区	8	9				6地区
清流氷川における清掃活動参加人数（人）	27人	20	43				50人
流域編入進捗率（%）	50.0%	60.0	70.0				100.0%
水洗化率（%）	79.6%	83.7	79.9				90.0%

4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造

施策コード		P4401	
評価	施策の体系	施策の方針	
B	①住民と協働で行う公園をはじめとする緑化空間の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・町内各地区での身近な緑化や花いっぱい運動などの住民の自主的な活動を支援していきます。 ・身近な地区の公園・憩いの空間づくりについて、地区別計画に基づくまちづくり活動と整合した支援をしていきます。 	
■主な事業		■主な成果	
地域振興課	花いっぱい運動の推進、各地区における憩いの空間づくり事業、公共サインの検討及び整備、立神峡公園施設の活用・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動の活動が各地区において実施されており、事業の定着が見られる。 ・公共サインの点検を実施し、老朽化していた電球をLEDへ交換した。 	
農地課	多面的機能支払交付金事業【再掲】	事業開始以降組織も広域化し、地域の事務負担が大幅に軽減している。実施地区数も現在30地区となり、共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理が適切に行われている。	
■課題		■次年度への展開	
【地域振興課】 <ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場を整備後の維持や管理の問題があり着手しづらい事業となっている。 ・立神峡公園内施設や設置物等、維持コストが高い。 		【地域振興課】 未実施地区への地区づくり補助金及びくまもと緑・景観共同機構の花いっぱい運動支援事業を周知し活用を促進する。	

施策コード		P4402	
評価	施策の体系	施策の方針	
C	②良好な環境づくりに向けた景観形成や計画的な土地利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり条例による景観づくりや助成制度を検討し、田園から里山まで、地区の特性に合わせた景観づくりへ向けた取組を推進します。 ・土地利用に関する計画に基づく適正な土地利用を誘導するための取組や住民意識の向上に努めます。 	
■主な事業		■主な成果	
地域振興課	景観に関する助成制度の検討、建築協定条例の活用、国土利用計画（氷川町）・土地利用計画の運用、まちづくり条例の運用	まちづくり条例の運用において、事前協議を2件実施した。	
■課題		■次年度への展開	
<ul style="list-style-type: none"> ・景観に関する助成検討に係る国県の補助制度の情報を収集 ・建築協定条例の活用に係る他市町村の類似事例の情報収集 		建築協定条例については、まちづくり条例とともに制度を見直す必要がある。	

成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
花いっぱい運動 取組地区数 (地区)	15地区	17	15				20地区
憩いの場づくりに取り組む地区 (地区)	0 地区	0	0				3 地区
竜北公園の来園者数 (人)	46,000人	36,942	35,749				80,000人
まちづくり条例などによる景観形成件数 (件)	2 件	1	0				5 件

5. 豊かな自然を活かした環境学習の仕組みづくり

施策コード	P4501		
評価	施策の体系	施策の方針	
B	①豊かな自然とそこで育まれた歴史・生活文化を活かした環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・山から海までの自然資源を活かした環境学習のプログラム及び実施体制の充実を図ります。 ・里山環境の保全をハード（公園化）とソフト（環境学習）の両面から保全・活用する取組や体制づくりを進めます。 ・様々な環境保全活動の人材を育成し、住民主体の活動の推進を支援します。 	
■主な事業		■主な成果	
地域振興課	里山暮らしの体験、竜北公園周辺における里山活用の推進、立神峡公園における環境学習による里山環境の改善、里山環境インストラクターの養成・発掘	<ul style="list-style-type: none"> ・里山フェスタは実施しなかったが、指定管理者においてタケノコ掘り体験や環境学習会を実施した。里地屋敷へは483人が宿泊した。 ・シトラスキャンプ×マルシェに森林インストラクターを招いて自然散策体験を実施することが出来た。 	
企画財政課	学校や地域での海に関わる学習機会や一斉清掃の実施	「八代海北部沿岸都市」地域連携創造会議と清流氷川流水対策協議会の共催で、松本橋公園周辺において清掃活動を実施し、一般参加者のほか竜北漁協組合員、ジュニアリーダー、関係課職員などが参加した。	
■課 題		■次年度への展開	
【地域振興課】 竜北公園の利用者は多いが、他の公園や施設と連携した取り組みは少ない。 【企画財政課】 体験事業について一般の参加者が少ない状況である。		【地域振興課】 周遊型の拠点として交流人口の増加に繋げるため、近隣市町村やひかわツーリズムクラブ等の団体と連携してイベントや保全活動を実施する。 【企画財政課】 継続的な活動となるよう、清流氷川流水対策協議会と連携した事業計画の再考が必要。	

成果指標

指標名	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	R9	目標値（R9）
水環境に関わる体験事業参加人数（人）	34人 (R1)	35	43				35人
里山フェスタ参加者数（人）	90人 (H29)	—	—				200人

6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり

施策コード		P4601	
評価	施策の体系	施策の方針	
B	①循環型社会づくりを目指したごみの減量化と環境美化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別収集・リサイクル活動をはじめ、環境にやさしい暮らしを推進するための意識啓発や各種活動への支援を進めます。 ・各地域での環境美化活動の支援を進めます。 ・不法投棄防止施策及び体制の強化を図ります。 	
■主な事業		■主な成果	
町民課	ごみ収集委託、リサイクル推進事業の拡充、ごみ減量化推進啓発事業、廃棄物の処理・再利用の環境整備、地球環境の保全に向けた普及啓発及び活動の推進、子どもエコ学習・意識啓発、環境美化一斉行動の実施、環境への意識改革、マナーの周知・広報、不法投棄防止事業	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物を資源としてリサイクルすることでごみの量が削減されており、また「分別区分早見表」の作成、広報等を活用した意識啓発により、前年比で361tのごみが減少した。 ・小中学校の地球温暖化防止等の環境への意識啓発のため環境コンクールを実施した。 ・廃棄物監視員（14名）と連携した不法投棄パトロールを実施したが、不法投棄数が前年の26件から41件に増加した。 	
■課題		■次年度への展開	
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルについては意識の低い住民に対してのアプローチが必要。 ・環境美化一斉行動の参加者が固定化しており参加率が伸びない。 ・不法投棄者の特定が出来ず直接指導が出来ないものが多い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル収集品目やその分別方法等が町公式LINEやごみ出し早見表で検索できるため、啓発を図る。 ・環境美化一斉行動については、各種団体と参加者を増やす取り組みを検討・実施し、防災無線やホームページ等を活用した事前周知を行い参加率の向上を図る。 ・不法投棄者を特定するための目撃情報の収集、看板設置を引き続き行い、不法投棄発生件数の減少へつなげる。 	

施策コード		P4602	
評価	施策の体系	施策の方針	
B	②脱炭素社会の実現に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光などの再生可能エネルギーの活用や省エネ活動の推進を支援します。 ・太陽光などの導入促進に加え、資源ごみの分別などによるごみ削減を今後も継続的に実施し、脱炭素社会を目指します。 	
■主な事業		■主な成果	
町民課	クリーンエネルギーの活用・啓発活動の推進	再生可能エネルギーを活用した施設を導入した者に対し、氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金により導入費用の一部を補助した。（令和6年度は18件）	

■課 題	■次年度への展開
クリーンエネルギーの活用や省エネによる地球環境への負荷軽減等の情報提供や意識啓発が進んでいない。	クリーンエネルギーの活用や省エネ活動を推進するため、広報紙やホームページによる氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金の周知を実施する。

成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
ごみ発生量 (t/年)	3,253 t/年	3,078t	2,692				2,955 t/年
1人当たりの資源物排出量 (kg/年)	17.70kg/年	18.47kg	27.03				19.47kg/年
不法投棄処理回数 (回)	87回	26回	41				30回
太陽光助成件数 (件)	17件	11件	18				20件